



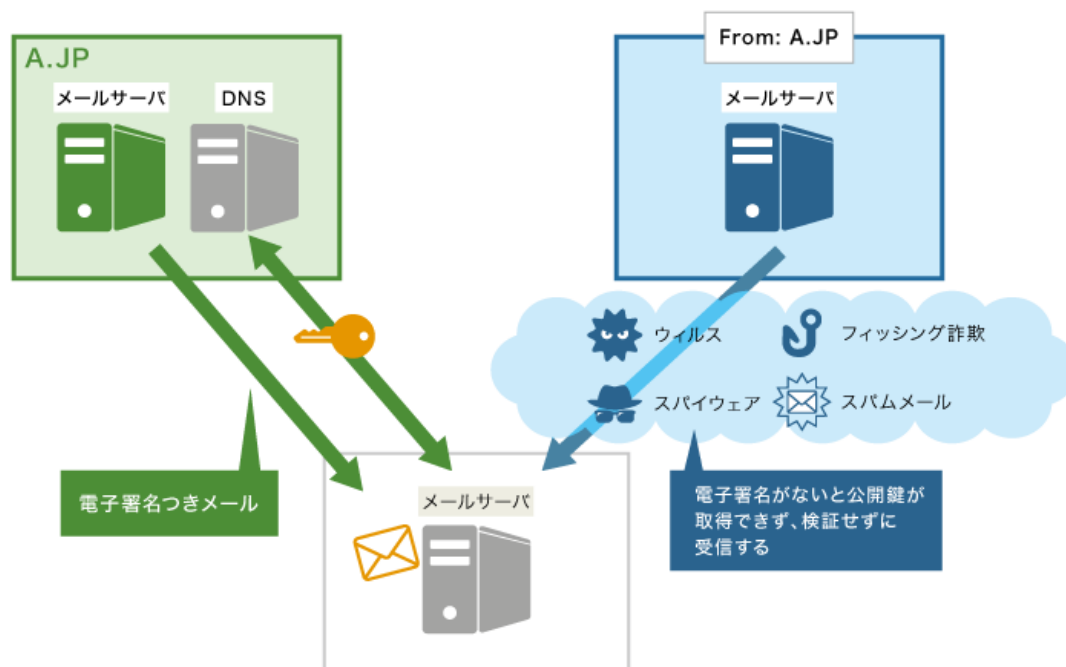
DKIM設定について

DKIMとは？

DKIM (DomainKeys Identified Mail) とは、正しい発行元メールサーバから送信された改ざんされていないメールであると証明する電子署名方式の送信ドメイン認証技術です。

効果はメールサービスによりますが、送信メールの信頼度が上がり、迷惑メール扱いされにくくなります。

※DKIMの設定に併せて「SPF」の設定をしていただくことで、よりメールの信頼度が上がり、メールの到達度の向上が見込めます。その為、「SPF」も設定していただくことをお勧めします。



DKIMの仕組み

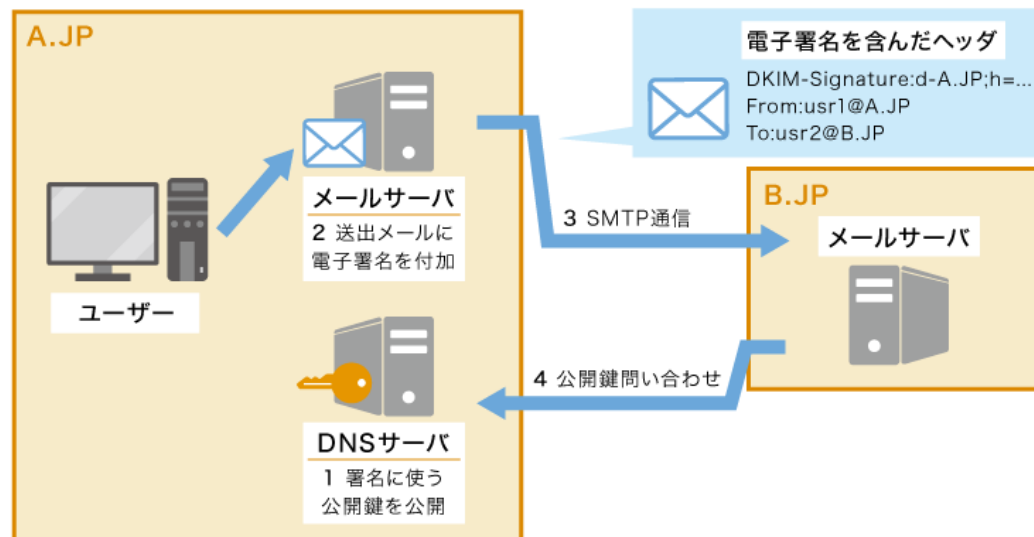
DKIM での認証は、公開鍵暗号を用いて次のように行われます。

送信者：

あらかじめ、送信者ドメインの DNS に公開鍵を登録しておきます。メールを送信する際に、メール本文と一部のヘッダを元にした DKIM の電子署名をメールヘッダに付与します。

受信者：

受信したメールに DKIM の電子署名があれば、送信者ドメインの DNS から公開鍵を取得します。取得した公開鍵を使って電子署名が正しいか検証します。



DKIM署名の種類について

第三者署名：

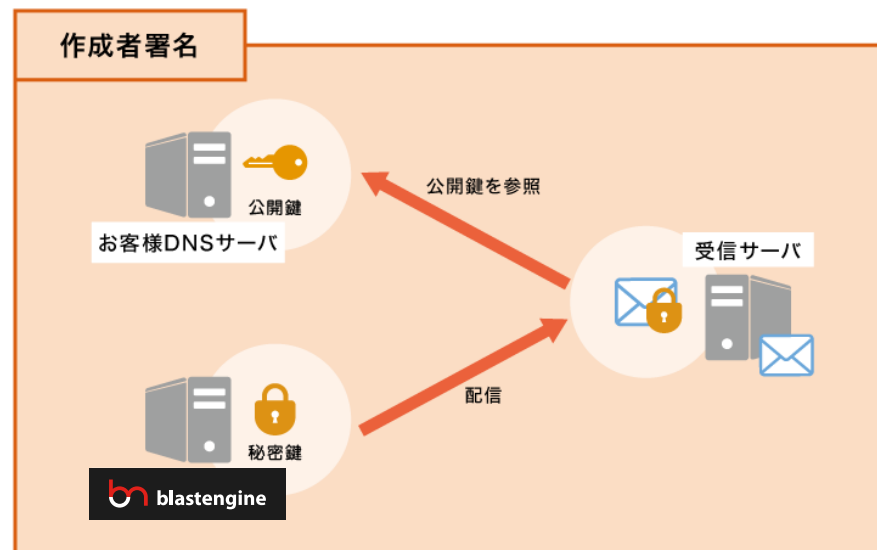
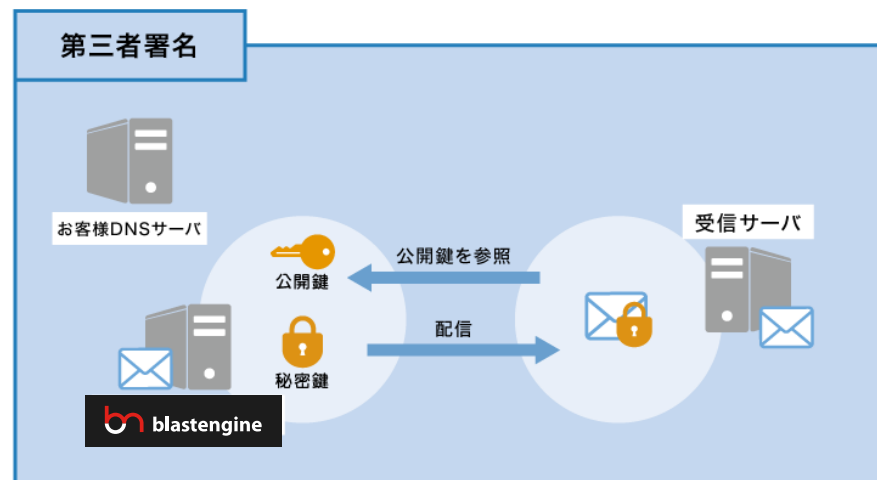
メール作成者ドメイン（メールヘッダの From フィールドに書かれているドメイン）とは異なるドメインで署名する方式となります。

メール送信者のドメインであることは確認できませんが、どのドメイン名のメールサーバから送信されたのかは確認できます。

メール配信サービス等を利用した場合、第三者署名となるケースがあります。

作成者署名：

メール作成者ドメインで署名する方式となります。サービスの DKIM 作成者署名オプションを利用することで、DKIM 作成者署名による配信が可能となります。なお、DKIM 作成者署名による配信を行う場合は、メール作成者ドメインを収容している DNS サーバに設定が必要となります。(9 ページ参照)



DKIM作成者署名の設定

blastengineからDKIM作成者署名設定をする

ログイン ➡ 画面右上の【歯車マーク(設定)】をクリック ➡ 【DKIM 作成者署名の設定】をクリック



APIからDKIM作成者署名設定をする

API ドキュメントに設定方法を掲載しています。

<https://blastengine.jp/documents/>

該当該当項目

- ▶ 署名一覧 API
- ▶ 署名登録 API
- ▶ 署名更新 API
- ▶ 署名削除 API

❗ DKIM 作成者署名の鍵は 1 年ごとに交換することを推奨します。

DKIM作成者署名設定が完了したら公開鍵のDNS設定も行なってください

P.8へ

DKIM作成者署名のセレクトタについて

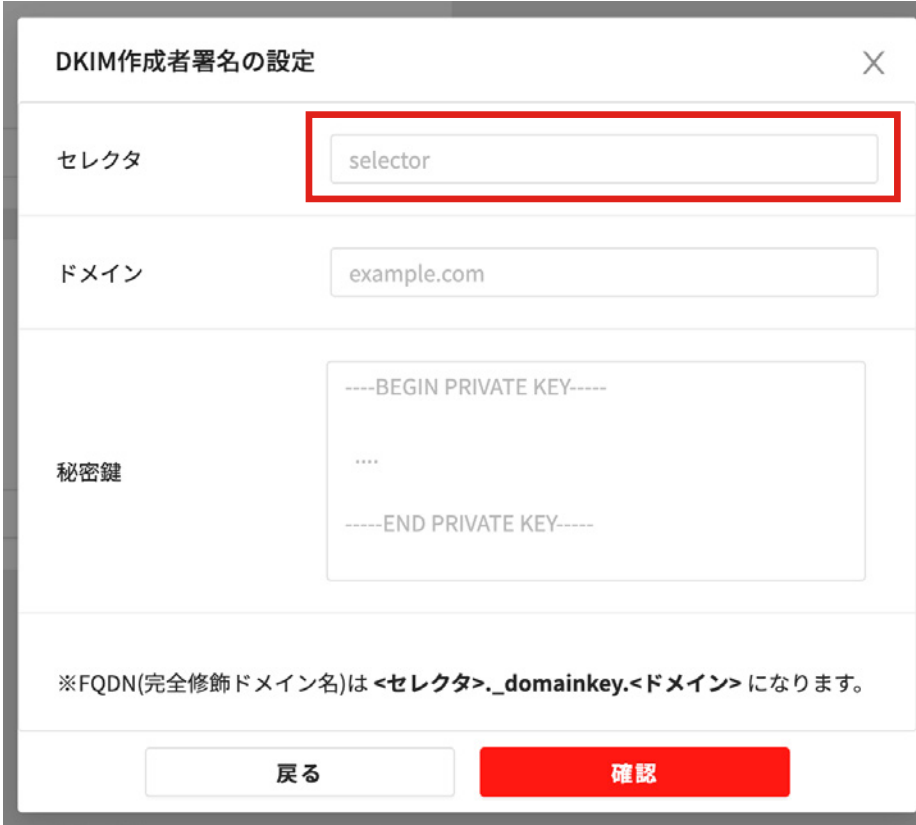
- ▶ 受信者サーバで公開鍵を取得する際にドメイン名の一部として利用されます。
- ▶ 任意の文字列を設定できます。
- ▶ 異なるセレクトタを指定することで、一つのドメインに対して、複数の公開鍵を運用できます。

許容文字

- ・ 半角英数字
- ・ 半角記号 (ハイフン、アンダーバー、ドット)

エラーになる入力値

- ・ 未入力
- ・ 上記許容文字以外の文字及び記号
- ・ 101 文字以上の文字列
- ・ 先頭もしくは末尾に記号
- ・ 文字間に半角スペースを含む文字列



DKIM作成者署名の設定

セレクトタ: selector

ドメイン: example.com

秘密鍵: ---BEGIN PRIVATE KEY---
.....
-----END PRIVATE KEY-----

※FQDN(完全修飾ドメイン名)は <セレクトタ>._domainkey.<ドメイン> になります。

戻る 確認

DKIM作成者署名のドメインについて

- ▶ DKIM 対応したいドメインを設定します。
- ▶ From アドレスのドメインと一致するものを設定します。

必須条件

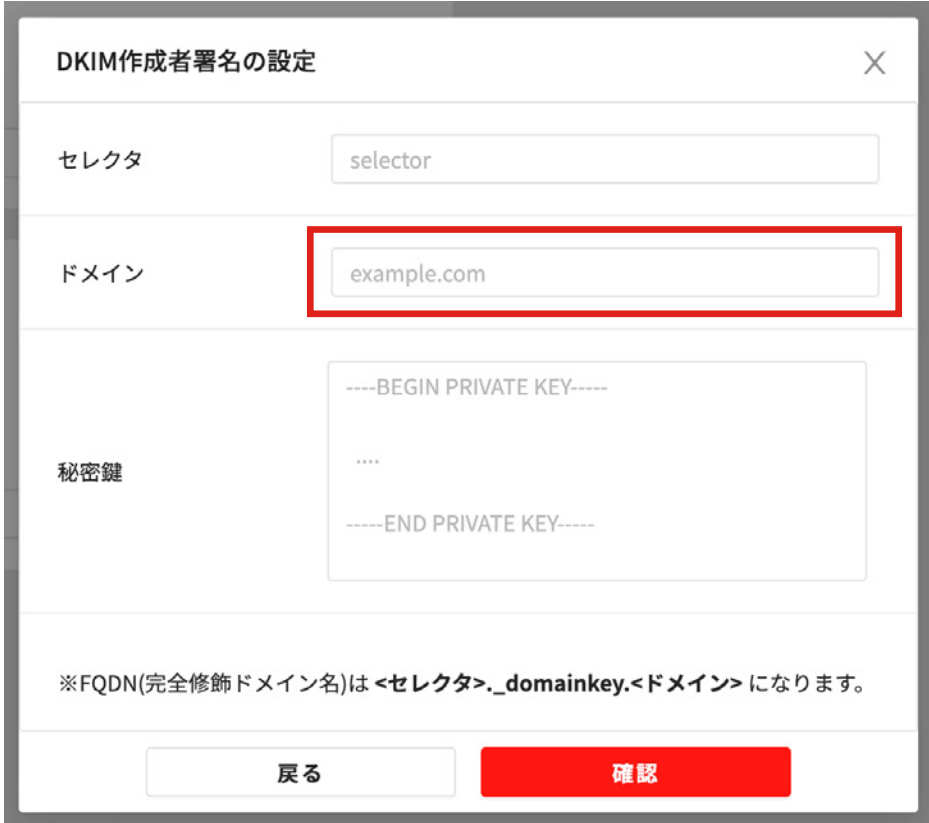
- ・半角ドットを必ず含める（先頭末尾を除く）

許容文字

- ・半角英数字
- ・半角記号（ハイフン、ドット）

エラーになる入力値

- ・未入力
- ・上記許容文字以外の文字及び記号
- ・101 文字以上の文字列
- ・先頭もしくは末尾に記号
- ・文字間に半角スペース
- ・半角ドットを含まない文字列



The screenshot shows a dialog box titled "DKIM作成者署名の設定" (DKIM Creator Signature Settings). It contains three input fields: "セレクトア" (Selector) with the value "selector", "ドメイン" (Domain) with the value "example.com" (highlighted with a red border), and "秘密鍵" (Private Key) with a placeholder "----BEGIN PRIVATE KEY----" and "----END PRIVATE KEY----". Below the fields is a note: "※FQDN(完全修飾ドメイン名)は <セレクトア>._domainkey.<ドメイン> になります。" (Note: FQDN (Fully Qualified Domain Name) is <selector>._domainkey.<domain>). At the bottom are two buttons: "戻る" (Back) and "確認" (Confirm).

DKIM設定:公開鍵の設定方法(例)

お名前.comでの設定方法

- ① お名前 .com のサイトへログイン
- ② メニュータブの「ドメイン設定」をクリック
- ③ 左メニューの【ネームサーバーの設定】グループの「DNS 関連機能の設定」をクリック
- ④ 【DNS レコード設定を利用する】の「設定する」ボタンをクリック
- ⑤ 下図のように表示されますので、項目にて、「ホスト名」は“★★セレクトタ★★._domainkey”を入力。
「TYPE」は”TXT”を選択。「VALUE」は ” v=DKIM1; k=rsa; p=★★公開鍵★★” を入力して、追加をクリック

※最新の情報は各サービスのWEBページをご確認ください。

A/AAAA/CNAME/MX/NS/TXT/SRV/DS/CAAレコード

ホスト名	TYPE	TTL	VALUE	優先	状態	追加
	TXT	3600	v=DKIM1; k=rsa; p=★★公開鍵★★		有効	追加

● 追加

A/AAAA/CNAME/MX/NS/TXTレ...

※オリジンのNSレコードは変更で...

※オリジンのNSレコード機能で設...

AAAAレコードは変更できません。

- ⑥ 【確認画面へ進む】をクリックし、【設定する】で確定(保存)

※ 設定後、反映完了まで最大72時間程度かかる場合がございます。

※ 設定方法が変更される場合がございます。

参考

<http://www.infomania.co.jp/techinfo/domainkeys.html>

<http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0602/16/news114.html>